

令和3年度

# 事業報告書

社会福祉法人

猪名川町社会福祉協議会

# 目 次

I	総括	1 ページ
II	諸活動報告	
1	地域福祉活動	2～3 ページ
2	ボランティア活動	4～7 ページ
3	生活支援サービス活動	7 ページ
4	児童家庭福祉（エンゼル）活動	8 ページ
5	障害者福祉活動	8～15 ページ
6	高齢者福祉活動	15～24 ページ
7	福祉学習（教育）啓発活動	24～28 ページ
8	調査・情報活動	28～29 ページ
9	組織基盤づくり活動	29～32 ページ
10	団体支援活動	32 ページ
11	町指定管理事業	32～34 ページ
12	諸会議	34～36 ページ
III	役員の状況	36～37 ページ

## 令和3年度 猪名川町社会福祉協議会 事業報告

### I 総括

令和3年度は5か年にわたる第7次猪名川町地域福祉推進計画の2年目として「みんなでつくる安心して暮らせるまちづくり」を福祉目標に、「人の輪づくり」「きっかけづくり」「情報の発信と受信」「社協づくり」の4つの推進目標を掲げ、スタートを切りました。しかし本年度も新型コロナの影響により当初計画していた事業や活動が軒並み中止、制限される結果となりました。ただコロナ禍においても感染予防対策を講じつつ、工夫しながらイベントや活動等開催するケースもありました。引き続き次年度においても町や関係団体と連携を図りながら、感染予防対策に努め事業・活動を継続していきます。

地域福祉活動においては、特に福祉委員会活動がコロナ禍の影響を受け、校区の活動やサロンなど制限されてしまいましたが、情報提供や相談支援など連携に努めました。日常生活自立支援事業では他機関と連携を図り支援するケースが増えました。生活福祉資金ではコロナ禍の影響で収入が減少した世帯に対し、緊急小口資金や総合支援資金の特例貸付の対応および子育て世帯・高齢者世帯・その他世帯毎にモニタリングを行い、必要な世帯に対しコープ神戸からご寄付いただいた米や食材の配布を行いました。

ボランティア活動センターでもコロナ禍の影響を受ける中、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターと連携し地域応援ボランティア講座を開催し担い手の養成を行いました。またボランティアイメージキャラクターのイラストを募り、多数の応募をいただき、ボランティアを知ってもらう機会を作りました。

一方、地域包括支援センターや障害者相談支援センターなどの相談支援事業については、複合的な課題のある世帯や認知症、ひきこもりなど幅広いケースに対応しながら関係機関、専門機関、民生委員・児童委員、行政などと連携を図りつつ課題解決に向け相談支援を行いました。

自主事業では介護保険事業のデイサービス・訪問介護や障害者多機能型事業所「希望の家すばる」においても、感染予防対策を講じつつ、クラスターなどにより営業を止めることなく、継続的にサービスを提供することができました。ただしコロナ禍の影響により利用を自粛する方や退所等で利用者が減少することもあり、前年度に比べると減収となりました。

法人全体の事業収支では、令和3年度は収入総額443,929,676円(対前年度比100.9%)、支出総額429,683,684円(対前年度102.7%)となり、収支差額14,245,992円(対前年度65.5%)の黒字となりました。

以下、ここに令和3年度における本協議会の諸活動についてご報告致します。

## II 諸活動報告

### 1 地域福祉活動

#### (1) 小地域福祉（福祉委員）活動

福祉委員制度は、各地域での福祉活動推進のために設置されており、福祉委員活動の支援や連携を取りながら、地域のつながりづくりや地域ニーズの把握に努めました。年度を通じて新型コロナの影響が大きく、多くの活動が縮小や自粛となりました。

##### ① 福祉委員会全体会及び役員会の開催（全体会2回、役員会4回）

全体会として福祉委員の役割について等の案内を行い、役員会では、全体で実施する活動についての協議や、Zoom研修会などを行いました。新型コロナの影響ため、全体会および第4回役員会は書面表決での開催となりました。

##### ② 猪名川町 SOS ネットワークの協力

地域での見守り体制の構築に向けて、地域の関係団体等と協議を行いました。

##### ③ 校区福祉委員活動として認知症サポーター養成講座を実施

認知症の方への理解を深めるために、養成講座や行方不明者捜索訓練を計画していましたが、新型コロナの影響のため中止となりました。

##### ④ 民生委員・児童委員と連携し、地域の見守り等の実施

コロナ禍でも地区・校区での交流会等を計画し、顔の見える関係づくりに努めました。

##### ⑤ 健康福祉まつりへの参加・活動PR

地域での居場所づくりの手法についての紹介や、舞台での活動PRを予定していましたが、新型コロナの影響のため、まつりが中止となりました。

##### ⑥ 社協事業等への参加

社協会員会費や赤い羽根共同募金運動などにおいて、例年、募金の依頼などを行っていましたが、コロナ禍のため参加自粛となりました。

#### 校区・地区ごとの主な活動内容

地区（校区）	主な活動内容
内馬場・伏見台地区	地区福祉委員会定例会、車いす・高齢者疑似体験等
原・松尾台地区	感染対策グッズ配布等
阿古谷地区	ふれあい交流会（環境美化作業、秋祭り、健康長寿体操、グラウンドゴルフ等）等
猪名川小校区	「若葉いこいの家」の運営ボランティア、若葉絆の輪への参加、むつみ会活動支援、秋祭り等
つつじが丘小校区	いこいの会、健康体操、カフェサンテ等
白金小校区	広報誌発行、研修会（施設見学）、Zoom研修、「善意の傘」の点検修理等
楊津小校区	校区定例会、地区ごとの活動、感染対策グッズ配布等
大島小校区	各地区でのサロン活動や戸別訪問等

※新型コロナの影響のため、多くの活動は自粛や中止となりました

## (2) ふれあい弁当サービス

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯等を対象に、安否確認や食生活充実を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

本年度は事業中止することなく実施しました。利用者の体調不良や入院、利用終了等もありましたが、新規利用者が増え、下半期（10月～翌3月）は目標食数を達成。R3 予算積算食数1750食に対し、実績1747食となりました。

月別配食実績表

(単位：食)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	139	102	175	133	103	182	153	123	161	164	120	192	1747
1回あたりの平均配食数	35	34	35	34	35	37	39	41	41	41	40	39	38
令和2年度	-	-	-	60	89	119	90	104	109	115	133	164	983
1回あたりの平均配食数	-	-	-	30	29	24	23	26	27	29	33	32	28

## (3) 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない方（認知症高齢者・知的障がい者など）が安心して、暮らしていけるよう福祉サービスの利用援助や日常生活の金銭管理等、自立生活への支援を行いました。本年度においては、ケアマネジャーや相談支援専門員等の関係者と連携を図りながら支援を行うことが多く延べ相談援助件数は113件。事業活動については、社協だより（令和3年8月号）にてPR啓発を行いました。生活支援員による支援業務については、ピーク時6件、解約2件あり、令和4年3月末時点で、4件（認知症高齢者2件、精神障がい者1件、その他1件）となっています。

## (4) 福祉相談マネジメント活動事業

生活福祉資金の貸付事業と自立相談支援事業との関係強化に取り組みました。各種相談事業や民生委員・児童委員、地域関係者との連携を図りながら生活困窮者に対して包括的支援ネットワークづくりに取り組みました。

### ① 生活福祉資金の相談・貸付

低所得者世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的として事業を実施しました。本年度も、新型コロナの影響で収入の減少があった世帯を対象とした特例貸付に関する相談が主であり、延べ259件の相談・支援を行い、特例貸付131件、教育支援資金2件が貸付に至りました。（令和2年度は、相談延べ538件／特例貸付決定273件／教育支援資金貸付決定2件）また、緊急小口資金・総合支援資金貸付世帯に対し、子育て世帯・高齢者世帯・その他世帯毎にモニタリングを行い、必要な世帯に対しコープ神戸からご寄付いただいた米の配布を行いました。

② 自立支援に向けて関係機関との連携

生活福祉資金貸付に至らないケースはワーカーズコープ、県民局、民生委員・児童委員、福祉課などと随時連携を行いました。また、本年度はヤングケアラーの実情を学ぶ機会として全国初の相談支援窓口を設置された神戸市の担当者の方を講師に招いて、住民福祉啓発講座を開催しました。学校や福祉、児童の関係者の理解・連携・支援の在り方について、また当事者を孤立させない取り組みについて考えさせられる内容となりました。

開催日：2月27日（日）10：00～12：00
場 所：総合福祉（ゆうあい）センター研修室＋リモート参加
内 容：「ヤングケアラーの実情とその課題について」
講 師：岡本 和久氏（神戸市福祉局政策課 子ども・若者ケアラー支援担当課長）
参加者：14名（会場参加：8名、リモート参加：6名）

③ 心配ごと相談

民生委員児童委員協議会に委託して実施しており、総合福祉センター、ふらっと六瀬及び日生公民館において、原則月3回、火曜日の午前10時から12時まで民生委員・児童委員が輪番で相談を受けつけています。本年度の相談件数は1件でした。（令和2年度実績：3件）

2 ボランティア活動

(1) ボランティア活動センターの運営事業

ボランティア活動の場の提供やコーディネート、情報提供等を通じ、より多くの住民がボランティア活動を通して地域社会の関わる「きっかけづくり」活動を進め、福祉向上を目的に実施しました。

①ボランティアに関する相談受付、コーディネート連絡調整

相談受付処理状況

(単位：件)

内容	ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	その他	令和3年度実績	令和2年度実績
一般住民	20	1	0	1	0	0	0	12	34	29
ボランティア・市民活動団体	5	1	3	17	2	0	1	50	79	116
福祉施設・病院	0	129 (164)	0	0	0	0	0	0	129	189

行政機関	0	32 (65)	2	0	1	0	0	8	43	38
社協	1	242 (1499)	0	1	0	0	0	1	245	231
福祉団体	0	17 (55)	1	0	0	0	0	3	21	3
学校・教育機関	2	1	36	14	2	0	0	9	64	65
その他	0	1	0	0	0	0	0	2	3	13
合 計	28	424	42	33	5	0	1	85	618	684

( )の人数=相談・依頼に対して活動したボランティア人数

ボランティア活動延べ人数 1,783名 (令和2年度実績1,755名)

#### ボランティア活動内容

一般住民	ボランティア活動の希望
福祉施設・病院	お茶出し・ドライヤーの手伝い、お話相手、囲碁将棋のお相手、散髪、レクリエーションボランティア等
行政機関	音訳CD作成、託児等
社協	ふれあい弁当サービスの調理及び配食、声の広報CD作り、「おもちゃ図書館」手作りおもちゃ作り、福祉学習のお手伝い、登録ボランティアグループの活動依頼等
福祉団体	聴覚障がい者・視覚障がい者に関する情報発信等
学校・教育機関	聴覚障害の学習、認知症サポーター養成講座、福祉講演会の講師の相談、福祉学習機材の貸し出し等

#### ②ボランティアに関する情報提供・啓発

##### ア ボランティアの啓発

例年実施される「健康福祉まつり」が新型コロナの影響により中止となりました。社協だよりに登録ボランティアグループの紹介を掲載し、ボランティア紹介の機会としました。新型コロナの影響により、施設関係での活動で休止状態が続く中、お手紙交流など工夫し活動を継続されました。

イオンモール猪名川店で傾聴ボランティア「みみい〜な」による傾聴ボランティア紹介は継続していましたが、ワクチン接種証明などが必要な状況となり、休止中。日生中央サピエ店内でのオレンジカフェでの傾聴サロンは継続し実施しました。また、猪名川イオンチラシ設置台を活用しボランティアグループの紹介チラシを設置するなど、啓発に努めました。

##### イ 啓発用冊子等の作成・配布

ボランティアに関心のある方、初めて活動をする方に、わかりやすい啓発リーフレット「笑顔いっぱいボランティア活動」や、ボランティア・福祉学習の詳細を記載した啓発冊子「レッツトライボランティア」を配布。主に学校での福祉学習体験時に配布し、啓発に努めました。また、「ふれあい伝言板」町内事業所の協力を得て情報発信に努めました。

#### ③機材貸出

町内施設やボランティアグループなどへ、機材の貸出を行いました。聴覚障がい者が参

加する講演会などには、ヒヤリンググループ、ボランティア団体のイベントで使用するプロジェクターなどの貸出を行いました。

#### ④ボランティアグループ助成

住民の社会福祉活動への主体的な参加を促進し、ボランティア活動の育成、及び活性化を図ることを目的にボランティアグループに対して活動経費の一部を助成しました。登録ボランティアグループ 7 団体からの申請に基づき適正に助成金交付を行い、各グループが特性に応じた活動を住民に実施されました。

#### ⑤兵庫県ボランティア・市民活動共済

本年度の件数は 82 件、加入者数は 1,173 名でした。(令和 2 年度 73 件・1,207 名) その内、「天災危険補償プラン」の取扱い件数は、学校支援ボランティア団体が加入されており、19 件、加入者数は 487 名となりました。

#### ⑥ボランティア活動センター運営委員会・ボランティアグループ連絡会

##### ア 猪名川町ボランティア活動センター運営委員会

ボランティア活動センターの円滑な運営を図るために、運営委員会を設け 6 名の委員(ボランティア関係 2 名・福祉委員・当事者団体・関係行政機関・社協理事)で構成。2 月に開催を計画していましたが、新型コロナまん延防止措置期間と重なり書面送付となりました。

##### イ ボランティアグループ連絡会

社協登録ボランティアグループの代表者により、ボランティア活動に関する連絡調整・助成金申請に係る説明を行うために年 2 回計画しています。ちょうど計画していた、4 月・2 月には、新型コロナ緊急事態宣言や蔓延防止対策機関と重なり、書面送付となりました。

#### ⑦災害ボランティアセンター運営

令和 2 年度に実施した、災害ボランティアセンター運営訓練の反省を生かし、本年度は、講師を招き、災害ボランティアセンターの役割等を学ぶ機会としました。

#### ⑧ボランティア養成講座

「第 7 次地域福祉推進計画」に基づき、コロナ禍ではありますが、感染予防に努めながら住民が参加しやすい講座の開催を目指しました。「災害ボランティア養成講座」をはじめ、開催日時の設定を工夫し、町内事業所へポスターやチラシを配布・いなぼうネットの掲載など PR・啓発を行いました。また、講座の様子を社協だよりに掲載するなど地域住民に興味を持って参加できるボランティア講座の企画に努めボランティア活動の担い手の育成に努めました。



	講座名	開催日 (期間)	開催場所	講師名	参加者数 (令和元年度実績)
1	猪名川町地域応援ボランティアキャラクターイラスト募集	7月21日(水)～8月30日(月)	例年実施している小学生・中高生向けのボランティア講座の一環として、他者と交流しなくとも、福祉やボランティアに興味を持ってもらえる取りくみとして、「ボランティアイメージキャラクターイラスト」の募集を実施。		町内小中学生 147名の応募
2	手話奉仕員養成講習会(入門編)	6月2日～11月24日 毎週水曜日 計22回	総合福祉(ゆうあい)センター	・町ろうあ協会 ・手話サークル マジック	14名・延べ280名 (19名・280名)
3	災害ボランティア養成講座	12月4日(土)	総合福祉(ゆうあい)センター	兵庫県広域防災センター 防災教育専門員 田中 健一氏	25名 (19名)
4	災害登録ボランティア交流会(兼職員研修)	12月15日(水)	総合福祉(ゆうあい)センター	一般社団法人 ADI 災害研究所 代表 伊永 勉氏	14名 (18名)
5	音訳ボランティア養成講座	10月15日～12月3日 毎週金曜日 計8回	総合福祉(ゆうあい)センター	Saki Voice Japan 代表フリーアナウンサー 前田 紗希氏	33名 延べ165名+40名(Zoom受講者)
6	要約筆記啓発講座	6月1日(火) 1月23日・27日  1月30日	日生公民館 大集会室  総合福祉(ゆうあい)センター	兵庫県立聴覚障害者情報センター 言語聴覚士 岡 恵子	10名 29名 12名 延べ77名 (15名14名・延べ29名)
7	猪名川町地域応援ボランティア養成講座	8月3日(火) 11日(水) 17日(火) 24日(火) 計4回	総合福祉(ゆうあい)センター)  イオンモール猪名川店	FPM-α 影山京子氏 三田高平地区さとカフェ 服部 あかね氏・高岡 十一氏	17名・延べ49名
8	ボランティア交流会	1月19日(水)	総合福祉(ゆうあい)センター	—	18名 (19名)

### 3 生活支援サービス活動

#### 福祉用具貸出・相談活動事業

平成5年度より、町内在住で福祉用具を必要とする方に、善意銀行に寄付があった福祉用具(車イスや歩行器等)を中心に基本6ヵ月以内無料(一部物品搬出料の負担あり)で貸出を

実施しています。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大はありましたが、落ち着きがみられた為、外出目的で使用する車いすや歩行器が昨年度よりも若干増加しています。

貸出件数

(単位：件)

貸出用具	車いす	ポータブルトイレ	歩行器	その他(杖・入浴関連)	合計
令和3年度	63	24	8	27	122
令和2年度	54	24	4	34	116

#### 4 児童家庭福祉(エンゼル)活動

福祉を育む仲間づくり活動・子ども相談・支援活動

##### ① ちびっこボランティア講座

例年、小学生を対象に、障がいのある方やボランティア等とのふれあいを通じて、子ども達が積極的に福祉やボランティアへ関心を持つ契機となることを目的に開催していましたが、新型コロナウイルス感染予防の為、中止しました。代替えとして「地域応援ボランティアイメージキャラクターイラスト募集」を町内の小・中学生が応募できるように計画し、実施しました。

##### ② おもちゃ図書館(手作りおもちゃ制作・地域への貸出事業)

ボランティアが制作した手作りおもちゃを、地域の団体や子育て支援グループ・個人への貸出しを行いました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い地域における子育て支援グループ等の活動鈍化に伴い、昨年度同様の貸出件数になっています。

本年度貸出件数：11件(令和2年度貸出件数：14件)

(共同募金の地域配分金を活用しています)

#### 5 障害者福祉活動

##### (1) 啓発活動・団体支援

##### ① イナワイ等の地域交流会啓発活動

障がいのある方との交流や地域における障害者福祉等の啓発を目的として、“音楽”をテーマに活動しました。本年度も昨年度に引き続き、打楽器「カフォン」の演奏会等の活動を通じて地域交流や啓発活動に取り組みました。(一部共同募金の地域配分金を活用しています)

開催日：1月29日(土)・3月26日(土) 10:00~11:30 計2回(2月は中止)

場所：障害者福祉センターおよび教養娯楽室およびリモートでの開催

内容：打楽器「カフォン」の説明・合奏

講師：中山 拓人氏

参加者：延べ27名参加

## ②セルフヘルプグループの活動支援

セルフヘルプグループ（障害関係 4 団体）について、諸活動の協力及び活動支援を実施しました。

ア 身体障害者福祉会

イ 身体障害者父母の会

ウ 手をつなぐ育成会

エ こころ猪名川家族会

## (2) ふれあい交流活動

### ① ふれあい運動会

障がいのある方とその家族、ボランティアが共にスポーツ・レクリエーションを楽しみながら、仲間や生きがいをづくり、「障がい」の壁を乗り越え、お互い理解を深め合い、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることを目的として開催を予定しましたが、昨年度同様に新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となりました。代替イベントとして東京パラリンピック開催に向けた「採火式」を8月に開催しました。

### ② ふれあいバスツアー

障がいのある方とその家族、ボランティア等の方々との交流や仲間づくりを目的に「ふれあいバスツアー」の計画をしましたが、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となりました。

### ③障がい児・者プール教室

障がい児・者がプールでのレクリエーションへの参加機会確保と促進、自立支援及び障がい児・者を地域で支えるきっかけづくりを目的として、障がい児・者を対象としたプール教室を開催しました。

開催日：7月30日・8月6日・20日・27日（いずれも金曜日）

講師：久保 美弥氏 西田 一二美氏 ボランティア：5名

参加者：16名 延べ人数44名（令和2年度 参加者10名 延べ人数23名）

## (3) 障害者総合支援法事業

### ①多機能型事業所「希望の家すばる」運営

#### ア 就労継続支援 B 型事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、就労の機会、生産活動やその他の活動機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力向上のための訓練を行いました。利用実績については、新型コロナの影響で利用自粛された方や他事業所に移られた方がいたため昨年度に比べて減少しています。なお、工賃については、新しい内職受託先を2か所開拓したことで工賃支給額は増えました。

利用人数・実績（決算書 P27 障害福祉サービス等事業収入）

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和3年度	実利用者数	19	18	19	18	17	17	17	18	17	17	14	15	3,475	27,057千円
	延利用者数	334	298	341	309	244	263	319	295	287	253	238	294		
令和2年度	実利用者数	17	16	16	18	20	20	19	19	20	20	20	20	3,589	27,635千円
	延利用者数	254	234	300	329	304	334	326	285	309	281	279	354		

工賃支給状況

（単位：円）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和3年度	工賃支給額	119,300	177,200	169,500	148,900	127,600	219,300	100,100
	平均個人支給額	6,278	9,844	8,921	8,272	7,505	12,900	5,888
令和2年度	工賃支給額	200,200	141,000	104,300	93,800	144,500	126,100	103,300
	平均個人支給額	15,400	10,071	7,450	5,862	8,027	7,005	6,076
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和3年度	工賃支給額	182,800	219,400	200,000	217,200	200,534	2,081,834	
	平均個人支給額	10,155	12,905	11,764	15,514	13,368	10,276	
令和2年度	工賃支給額	162,600	175,600	197,500	127,200	97,764	1,673,864	
	平均個人支給額	9,564	9,755	10,972	7,482	19,598	9,771	

イ 生活介護事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、入浴、排せつ及び食事等の生活支援、創作活動やレクリエーション等の日中活動の支援を行いました。

利用実績については、長期欠席や他事業所に移られた方がおられたため、昨年度に比べて減少していますが、個々の障がい特性を理解するための内部研修や事例検討を積極的に行うことでサービスの質の向上に取り組みました。

利用人数・実績額（決算書 P27 障害福祉サービス等事業収入）

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和3年度	実利用者数	22	22	19	21	19	19	20	21	19	20	19	21		53,525 千円
	延利用者数	419	331	373	333	330	341	376	361	353	327	293	402	4239	
令和2年度	実利用者数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24		55,920 千円
	延利用者数	284	229	392	416	396	417	417	398	392	356	350	437	4,484	

② 障害者ホームヘルプサービス事業（居宅介護・重度訪問介護）

障がい（身体・知的・精神）があるため、日常生活を営むことに支障がある障がい者の自宅にヘルパーが訪問し、身体介護（身の回りの支援、食事、入浴、排泄等の介助・介護）、家事援助（調理、洗濯、掃除、買物等の必要な家事）、相談・助言・その他（生活・介護に関する相談）サービスを実施しました。転居された方などがあり前年度に比べると減収となっています。支援については、家族、相談支援センターや行政等、関係機関と連携を図りながら、個々の障がいに応じた細やかな支援に努めました。

利用人数・実績額（決算書 P27 障害福祉サービス等事業収入）

（単位：人・件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和3年度	実利用者数	8	9	7	9	7	8	10	9	9	10	10	11		3,782 千円
	延利用者数	75	74	46	57	56	63	64	62	56	62	61	44	720	
令和2年度	実利用者数	9	10	10	11	7	8	10	10	9	11	10	10		4,404 千円
	延利用者数	88	91	94	89	71	70	68	67	59	72	67	75	991	

③地域活動支援センター事業

町内在住の障がい（精神疾患）のある方を対象に、地域の中で自分らしく暮らすことを目的として、創作活動プログラムや社会との交流促進プログラムを提供しました。

新型コロナウイルス感染防止の徹底の為、アクリルパーテーションの設置、利用ガイドラインの改訂を行い、感染への不安に対応できるよう努めました。利用者数としては、緊急事態宣言の延期やまん延防止重点措置の影響を受け昨年度同様の利用者数になっています。利用時には精神的な不安や悩みが軽減されるよう、利用者の気持ちに寄り添い、日中時間を安心して過ごすための居場所になるように心がけました。相談内容に応じて、猪名川町障害者相談支援センター等の関係機関と連携を行いました。

利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	実利用者数	13	11	14	12	13	12	11	10	14	19	18	13	791
	延利用者数	92	69	72	54	50	66	69	64	64	41	46	104	
令和2年度	実利用者数	10	8	13	13	12	12	15	12	11	10	12	13	795
	延利用者数	39	22	80	75	76	90	74	53	64	53	75	94	

(4) 地域生活支援事業

①障害者療育支援事業

運動面や情緒・知的面などの発達の遅れが心配される児童を対象として、基本的な生活習慣の獲得や社会性の発達、運動機能の維持・向上などを目的とした事業です。障がいのある児童の健全育成の一助として、理学療法、作業療法、言語療法訓練について、専門機関から訓練士の派遣を受けて実施しました。

本年度も新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言、まん延防止重点措置が発出されましたが、感染防止対策を強化し（訓練時間を5分縮小し消毒作業を行いました。）実施いたしました。利用者数は令和元年当初の利用者数まで回復しました。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	実利用者数	57	43	48	47	51	53	54	50	57	46	45	56	976
	延利用者数	83	70	87	74	71	89	101	84	85	70	72	90	
令和2年度	実利用者数	24	39	44	50	50	46	47	49	51	43	48	50	897
	延利用者数	37	59	89	88	66	85	87	81	79	63	78	85	

②日中一時支援事業

障がいのある方に、一時的な日中活動の場を確保し、家族の就労支援や介護者の一時的な休息を目的に、必要な生活支援サービスを提供しました。本年度も様々な利用ニーズに対応すべく受け入れ態勢を整えましたが、利用ニーズの減少により昨年度と比較して延べ利用者数は減少となりました。

利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	実利用者数	9	4	3	7	6	4	6	6	5	5	6	6	
	延利用者数	52	36	27	29	26	25	33	23	27	22	29	37	366
令和2年度	実利用者数	5	2	3	4	6	7	7	7	5	6	4	7	
	延利用者数	33	19	28	36	36	48	47	52	35	35	32	50	451

③ 移動支援事業

障がいのある方が、充実した日常生活を営むことができるようガイドヘルパーが付き添い、社会参加に必要な外出時の介助、支援を行いました。ここ数年はガイドヘルパー従事者の確保が難しい状況ですが、できる限りニーズに対応した結果、利用実績は昨年度より増加しました。

利用状況

(単位:人・日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	実利用者数	4	1	4	4	3	4	6	5	5	3	4	4	
	延利用日数	7	1	7	11	8	10	12	11	12	4	7	11	101
令和2年度	実利用者数	0	0	4	4	4	4	5	4	4	3	3	4	
	延利用日数	0	0	7	6	7	9	11	8	9	6	7	6	76

④ 音訳・点訳広報紙

声の広報等発行事業

文字による情報入手の困難な視覚障がいのある方に、音訳ボランティア「リヴィエール」、点訳ボランティア「てんてまり」の協力を得て、町広報・社協だより・議会だより・人権いながわ・選挙公報・広報臨時号などの音訳・点訳への編集・発行を行いました。また、本事業のPRチラシを福祉課の協力のもと視覚障がい者手帳所持者へ発送するなど啓発にも努めました。音訳CDや点訳物は図書館や福祉課等にも配布しています。本年度、利用者数4名。延べ利用回数104回となりました。

(令和2年度の利用者数4名、延べ利用回数94回)

## (5) 相談支援（就労支援）センターの運営事業

障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことを目的に相談支援事業を実施しました。

### ① 総合相談支援事業

障害者総合支援法の障害者地域生活支援事業における相談支援事業を町より受託し、相談支援（生活支援・就労支援）を実施しました。障がいのある方や、その家族が安心して地域で暮らせるように、様々な相談に応じて、必要な情報の提供や、障害福祉サービスを利用するための支援を行うほか、権利擁護の為に必要な支援を実施しました。

人事異動により本年度から相談員 5 名（相談支援専門員 3 名、相談員 2 名）が 4 名（相談支援専門員 2 名、相談員 2 名）に減少した影響で相談対応件数は減少しましたが、相談者の不安が軽減できるようにきめ細かな寄り添った支援を心がけて相談支援をしました。

種別相談等延べ件数（基本相談）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	身体	3	5	2	8	0	5	5	0	9	6	5	5	53
	知的	17	7	9	7	4	1	6	3	11	4	8	16	93
	精神	32	17	16	20	28	37	37	27	31	20	14	30	309
	重症心身	0	0	0	10	0	0	0	0	1	1	0	1	13
	発達	7	8	5	11	3	1	6	2	8	11	11	7	80
	高次能	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	16	6	13	20	20	25	30	23	29	7	14	20	223
合計		75	44	45	76	55	69	84	55	89	49	52	79	772
令和2年度	身体	10	11	10	8	9	12	6	8	13	7	12	4	110
	知的	19	12	9	7	7	9	3	3	5	9	6	16	105
	精神	15	30	33	20	25	13	16	19	36	27	25	21	280
	重症心身	0	2	8	10	1	0	0	0	0	0	0	0	21
	発達	8	18	26	11	5	7	12	13	11	13	29	20	173
	高次能	8	5	4	0	2	0	0	2	1	0	1	3	26
	その他	8	5	12	20	7	13	8	13	13	9	8	11	127
合計		68	83	102	76	56	54	45	58	79	65	81	75	842

### ② サービス等利用計画

サービス等利用計画の作成は、福祉サービスを活用し、生活の質を向上させるために作る計画です。障がいのある方（児）が抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けた支援を実施しました。また、その計画が利用者本人にとって適切かどうか、新たな課題はないか定期的な評価を行いました。新型コロナの感染拡大防止の為に、訪問回数を必要最低限に心がけました。人事異動により本年度は相談支援専門員が 3 名から 2 名体制になったことから、



計画作成ができる人員が減少し、収入も減収していますが、きめ細かい支援を心がけた結果、対応した延べ件数は増えています。

支援状況（決算書 P70 障害福祉サービス等事業収入）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和3年度	実利用者数	28	31	41	26	43	30	23	31	22	30	30	32	367	6,972千円 (延 2,957件)
令和2年度	実利用者数	9	34	66	33	51	31	35	32	49	75	42	40	497	9,151千円 (延 2,510件)

### ③就労支援業務（就職支援・職場定着支援）

障がいのある方が就労する為の支援や就労が定着する為の支援を実施しました。阪神北障害者就業・生活支援センターやハローワークなどの関係機関と連携しながら就労相談、定着支援を行いました。

### ④自立支援協議会（専門部会の運営）

猪名川町障害者自立支援協議会の専門部会（生活・就労・教育）事務局として各部会に参加し、障がいのある方（児）が安心して暮らせる町づくりのための課題についての検討を行いました。新型コロナの感染拡大防止の為、専門部会の開催回数が減少、啓発セミナーについても昨年に引き続き中止になりました。

### ⑤障害支援区分認定調査

猪名川町から調査依頼を受け、サービスの利用を希望する障がいのある方や家族に対して、障がいや生活の状況などについて調査を行いました。

本年度実績 52件（令和2年度実績 25件）

## 6 高齢者福祉活動

### (1) 介護保険事業

#### ①高齢者デイサービス事業

利用者の心身機能の維持や介護者の介護負担の軽減などを目的として、入浴や食事等の支援を日帰り提供しています。介護予防を目的とした口腔・運動訓練などを行い、新たな利用者の支援につながるよう努めました。本年度は、実利用者数と延利用者数は前年度に比べると増加していますが、新型コロナの特例加算が終了したこともあり、若干の減収となっています。

利用人数・実績額（決算書 P27 介護保険事業収入）

（単位：人・件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和3年度	実利用者数	73	72	73	74	75	75	77	81	82	79	76	76	7,635	60,237 千円
	延利用者数	634	645	644	642	645	656	656	675	633	594	559	652		
令和2年度	実利用者数	73	69	76	78	76	72	72	71	68	65	70	73	7,382	60,376 千円
	延利用者数	539	599	651	687	649	667	681	614	542	478	585	690		

③ 訪問介護事業

要介護者等の在宅生活支援のためホームヘルパーが自宅へ訪問し、食事・入浴・排泄等の支援をする身体介護、掃除、洗濯、調理等の生活援助を行いました。町内居宅介護支援事業所と連絡調整し、利用者の受け入れを可能な限り行いました。前年度に比べると、1人当たりの訪問回数が少ない利用者が増えたことや、新型コロナの特例加算が終了したこともあり、本年度は若干の減収となっています。

利用人数・実績額（決算書 P28 介護保険事業収入）

（単位：人・件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和3年度	実利用者数	57	54	58	59	60	57	56	57	60	61	58	57	5,385	19,066 千円
	延利用者数	491	463	487	498	489	441	434	455	416	417	359	435		
令和2年度	実利用者数	58	54	55	57	57	59	61	59	57	53	52	57	5,822	19,710 千円
	延利用者数	493	451	525	528	475	490	495	502	481	423	433	526		

(2) 高齢者生活支援事業

① 軽度生活援助事業

日常生活で手助けを必要とする高齢者、障がい者を対象に社会との繋がりを持ちながら安心した生活が送れるよう、外出時の援助、食事・食材確保などの軽度の援助サービスを提供しました。また、介護保険制度の支給限度額超過などで介護保険サービスが保険給付外となる方に対して、本事業を利用いただき日常生活支援を実施しました。活動いただける方が減少する中ではありますが、可能な限り調整を行い実施しました。

利用人数・実績額（決算書 P33 軽度生活援助事業利用料収入）

（単位：人・件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和3年度	実利用者数	4	1	6	10	8	8	8	11	9	8	7	7	232	422千円
	延利用者数	11	3	11	25	30	22	24	24	22	22	16	22		
令和2年度	実利用者数	4	1	7	8	7	9	9	9	7	4	1	6	172	316千円
	延利用者数	7	1	15	16	17	22	30	32	13	6	1	12		

②生きがい活動支援事業

高齢者の生きがいづくり、仲間づくりの支援として猪名川町総合福祉（ゆうあい）センターを中心に運動系・文化系等の教室を開催し閉じこもり予防の推進に努めました。尚、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、前期分のプール教室が中止となりましたが、残りの教室は開催したこともあり、令和2年度より参加人数は大幅に増えています。

教室実施一覧表

教室名	実施時期	実施回数	参加者数
リフレッシュ体操教室	5月～7月	11回	16名
水泳教室	緊急事態宣言の為開催中止		
水中体操教室	緊急事態宣言の為開催中止		
心も体も楽体操教室	5月～7月	6回	15名
かんたん工作トレーニング教室	5月～7月	6回	8名
リフレッシュ体操教室	9月～11月	10回	16名
水泳教室	9月～11月	11回	13名
アロマな暮らし教室	9月～11月	6回	8名
リフレッシュフラ教室	9月～11月	6回	10名
かんたん工作ペーパークラフト教室	9月～11月	3回	11名
曼荼羅パステルアート教室	9月～11月	5回	10名
リフレッシュ体操教室	1月～3月	10回	16名
水泳教室1	1月～3月	10回	4名
水泳教室2	1月～3月	10回	9名
心も体も楽体操教室	1月～3月	5回	18名
楽しい色彩と手づくり教室	1月～3月	6回	8名
計	105回		162名 (延べ1081名)

令和2年度 実施回数 93回 参加者数 110名（延べ788名）

### (3) 地域支援事業

#### ①地域包括支援センター事業

高齢者等が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、包括的および継続的な支援を行う地域包括ケア推進を目的とし実施しました。地域包括ケアシステムを構築し、かつ有効に機能させるために、保健師等、社会福祉士、主任介護支援専門員がその専門知識や技能を互いに活かしながらチームで活動し、地域住民とともに地域のネットワーク構築に取り組みました。

##### ア 総合相談（権利擁護含む）

サービス利用に関する初期相談や、虐待、成年後見制度の相談、複合的な課題（高齢者と障がい者の複合世帯、生活困窮とゴミ問題、認知症と独居、精神疾患等）を抱える相談など、民生委員・児童委員や介護サービス事業者、病院の医療相談員等の多岐にわたる団体・機関から受け付けました。本年度は、コロナ禍の影響で閉じこもり等により認知症の初期症状についての相談、同じく入退院時の家族の不安についての相談（コロナ禍により、病院と患者家族とのコミュニケーションが少ない）が増加しました。相談件数は前年度と比べて、月平均10件程度の微増です。また、コロナ禍のため、関係者が多く集まる個別の地域ケア会議の開催件数は減少しましたが、必要に応じて関係機関や地域住民との連携を図りながら課題解決に向けた支援を行いました。

相談件数

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	実件数	109	119	100	103	125	93	116	138	118	98	99	93	1,311
	延件数	180	198	231	165	239	139	187	236	216	147	187	169	2,294
令和2年度	実件数	71	88	100	122	111	86	89	88	111	103	97	82	1,148
	延件数	119	128	187	227	216	145	150	150	249	218	179	201	2,169

##### イ 介護予防ケアマネジメント

要支援1・2の方の介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて対象者自らの選択に基づき、適切なサービスが実施されるよう援助（相談・ケアプラン作成・サービス調整等）を行いました。本年度は、地域包括支援センターでの担当件数及び居宅介護支援事業所への委託件数は大きく変動はありませんでした。

プラン作成件数

(単位: 件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	地域包括	123	121	125	123	123	126	123	130	128	133	132	134	1,521
	居宅介護支援事業所へ委託	212	207	210	211	213	219	227	226	222	222	218	222	2,609
合計		335	328	335	334	336	345	350	356	350	355	350	356	4,130
令和2年度	地域包括	110	121	123	124	118	124	128	122	125	131	128	120	1,474
	居宅介護支援事業所へ委託	194	206	205	206	206	211	215	220	217	207	209	213	2,509
合計		304	327	328	330	324	335	343	342	342	338	337	333	3,983

ウ 介護支援専門員（ケアマネジャー）支援

支援困難ケースを抱える介護支援専門員からの相談に随時対応し、必要に応じて協働でケースに関わりました。また、介護支援専門員連絡会やサービス事業所連絡会のサポート役として、企画・運営に参加しました。介護支援専門員の技量向上（スキルアップ）支援や地域とつなぐパイプ役等を担いました。本年度は、新型コロナの影響で企画していた研修が開催できませんでした。

エ 成年後見相談

成年後見制度の啓発・相談機能の強化として、予約制で毎月第3金曜日10時から12時に個別相談（2枠、1枠1時間）を実施しました。相談員は、兵庫県社会福祉士会「ばあとなあ兵庫」から派遣され、相談件数は11件、主に成年後見制度、申請手続きの方法、財産管理や遺産分割、施設・病院への入所入院関係についての相談でした。また、成年後見制度普及啓発講座を実施しました。

成年後見普及啓発講座

開催日：2月5日（土）14：00～16：00

場 所：総合福祉（ゆうあい）センター研修室＋リモート参加

内 容：「家族に迷惑をかけないための相続準備！21の秘訣」

講 師：代表取締役 米田 貴虎 氏（相続手続支援センター）

参加者：24名（会場参加：17名、リモート参加：7名）

②生活支援体制整備事業

介護保険制度改正により始まった介護予防・日常生活支援総合事業のひとつとして、町の委託を受け、生活支援コーディネーターを配置しました。「いつまでも安心して暮らし続けることができる地域づくり」の実現に向けて、公的機関や地域の多様な機関・団体と連携し、ネットワークづくりや住民同士の支えあいの活動支援、構築を目指す事業です。

昨年度に引き続き、本年度も新型コロナの影響が大きく、地域での居場所づくりを目的とした活動の多くは自粛せざるを得ない状況となりました。予定していた生活支援サポーター養成講座等は中止となりましたが、初の試みとして、ボランティア活動センター、地域包括支援センターと共同で、地域応援ボランティア養成講座を行い、地域の担い手づくりに取り組みました。

計画していた事業が中止となる状況でしたが、他市のコロナ禍での活動状況等の情報収集、町との協議を行いながら、体操教室やサロン等に新型コロナウイルス感染予防に関する情報なども随時提供し、コロナ禍でも可能な活動の相談等も対応しました。また、次年度より実施予定の松尾台校区でのアンケートや、いきいき百歳体操についての取組を行いました。

### ③ 認知症高齢者見守り事業

『やすらぎ支援員』（認知症の基礎知識・接遇研修受講者）が、認知症高齢者の自宅を訪問し、見守りや話し相手を通じて『なじみの関係』を作ることで、その方の心身の安定を図り、すこやかな在宅（住み慣れた地域で）生活が送れるように支援するとともに、認知症高齢者を介護する家族の介護負担軽減を図ることを目的として実施しました。本年度は、新型コロナの影響が大きく利用がありませんでした。

### ④ 家族介護支援事業

#### ア 認知症サポーター養成講座

認知症への正しい理解、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮らせるまちを地域住民の手でつくることを目指す、全国的な取り組みです。本年度は、認知症サポーター養成講座を13回開催し、538名の認知症サポーターを養成しましたが、コロナ禍の影響で地域活動が縮小していることもあり、行方不明者捜索・声かけ訓練は1回に留まりました。

	開催回数（回）	サポーター数（名）
令和3年度	13	538
令和2年度	7	399
令和元年度	22	652
平成20年度～累計	182	5,203

#### イ 家族介護教室

家族や地域住民等の援助者を対象に、介護方法、介護予防、健康づくり等の知識及び技術の習得を目的に開催しました。本年度は、認知症講演会をオレンジC a f e との2部制で行いました。

開催日：9月21日（火）13:00～14:00

場 所：日生サピエ2階サピエギャラリー

内 容：「早期診断の必要なわけ」

講 師：市立伊丹病院認知症疾患医療センター医師 伊東 範尚 氏

参加者：20名

#### ウ オレンジCafe（認知症カフェ）開設

認知症の方とその家族、地域住民、専門職などが気軽に参加できる場所とし、介護の相談のきっかけや地域とのつながり作りを目的に開設しました。

日生中央サピエ8回開催し、認知症当事者や介護者の参加も含め、延べ158名が参加されました。誰もが気軽に参加できるよう、毎回ワークショップを同時開催、また本年度は傾聴ボランティアみみい～なや川西・猪名川活動栄養士協議会と協同開催に取り組みました。

また新たな取り組みとして、若年性認知症の当事者の居場所づくりとして「ゆう友サロン」を開設しました。これまで若年性認知症の診断を受けた方の相談を受ける機会がほとんどありませんでしたが、脳の健康教室のサポーターでもあり認知症サポーター養成講座のキャラバン・メイトとしても活動されている方より、脳の健康教室受講者の若年性認知症の方の居場所づくりをしたいとの相談を受け、町と郵便局の地域見守り連携協定の一環で猪名川郵便局に協力を得て、局内の「窓口コミュニティールーム」を無料提供いただき、11月にスタートし3月末時点で5回開催しました。当事者もお客さんとしてではなく役割を持って生き活きと活動していただき、介護者の相談・息抜き場としても良い効果が出ています。

#### ⑤地域介護予防活動支援事業

##### ア 脳の健康教室モデル及び自主教室運営支援

平成29年度より認知症予防・集いの場の確保・ボランティア活動の場の提供を目的として、「脳の健康教室」を実施しています。自主グループへの支援として、活動事務経費助成、会場の提供、運営に関するアドバイス等の支援を行いました。

##### イ 脳の健康教室サポーター養成講座

ボランティア活動センターや生活支援コーディネーターとの共同開催で「地域応援ボランティア養成講座」の一環として実施しました。18名の方が参加され、うち4名が脳の健康教室サポーターとして登録されました。

##### ウ 健康長寿体操教室運営支援

健康寿命を延ばすために身近な地域にて体操教室が展開されています。現在18教室、新型コロナウイルスの感染対策を行いながら教室実施に努めましたが、新型コロナウイルスの影響で一定期間、開催自粛または、年間通じて実施できない教室がありました。なお、新規教室はありませんでしたが、いきいき体操松尾台教室と一緒にモデル事業を実施した、いきいき体操日生中央教室へ、本年度より運営支援を行っています。3月には自主教室を運営している代表の方等が集い体操教室交流会を行いました。

### 健康長寿体操教室一覧

	教室名		教室名
1	若葉いきいき体操教室セカンド	11	北田原すみれ倶楽部体操教室（自粛）
2	旭ヶ丘健康体操クラブ	12	あこやクラブ健康体操部会
3	いきいき体操松尾台教室	13	つつじが丘健やか体操
4	いきいき体操日生中央教室	14	猪名川荘苑健康長寿体操教室
5	伏見台チェアトレーニング教室	15	やないづ体操クラブ
6	パークタウン東体操教室	16	柏原健康体操
7	猪名川台ちよこっと体操	17	ふらっと体操教室
8	東山いきいき元気倶楽部	18	広根健康長寿体操教室
9	清水健康体操教室	19	西畑体操教室
10	若葉いきいき体操教室ファースト		

### エ ふれあい・いきいきサロン開設・継続支援

地域の方が支え合い、いつまでもいきいきと安心して暮らせるよう、地域の住民が主体となり身近な場所で交流を深める居場所づくりを立ち上げるための支援を行います。新型コロナウイルスの影響もある中、伏見台地区で自宅を開放して新規サロンが立ち上がりました。すでに開設されているサロンは、年間を通じて活動を自粛、コロナ感染状況に応じて可能な範囲で活動実施、屋外での活動を中心に継続して実施など様々であり、そのうちの1カ所へ継続支援を行いました。活動が難しい状況ではありましたが、サロンに参加されていた方から再開を要望する声があると運営者からも相談を受けることがあり、再開に向けての対応について支援を行いました。

### ふれあい・いきいきサロン開設状況

	サロン名	地域名
1	ほっとサロン	猪名川荘苑
2	わ（話・和・輪・環・把・羽）の会	広根ニューハイツ
3	若葉活き活きサロン「スマイル」	若葉
4	にこにこサロン	旭ヶ丘
5	サロン島村	島
6	伏見台自治会サロン「いっぷく亭」	伏見台
7	えんがわ CAFE	松尾台
8	白金いきいきサロン	白金
9	猪名川台あそぼう会	猪名川台
10	すこやかサロン	つつじが丘
11	清水ふれあいサロン	清水
12	伏見台いこいの広場	伏見台
13	杉生いきいきサロン	杉生



	サロン名	地域名
14	ハートフルサロン	仁頂寺・川向
15	西畑サロン	西畑
16	地域の茶の間 岡田っ家	伏見台

⑥ 認知症初期集中支援促進事業

認知症の方やその家族に対し、早期に関わる体制の構築、支援強化に努めました。看護師、社会福祉士、介護福祉士、主任介護支援専門員等が短期集中で当事者への相談支援に関わり、支援チーム員（認知症サポート医、作業療法士、主任介護支援専門員、看護師、社会福祉士、介護福祉士）と町福祉課職員で、年間5回のチーム員会議を開催しました。新規2件、終了2件、モニタリング中2件となりました。

【最終引継ぎ先】	件数（件）
ケアマネと介護保険制度の利用	1
見守り中、かかりつけ医と連携	1
介護保険未申請	0
入院	0

⑦ 介護予防普及啓発事業

食を通じた介護予防と健康寿命延伸の啓発活動に取り組んでいます。「すこやか食生活講座」と題して広報を行い、老人会や地域のサロン等にて、講話に加えて試食会または食事会を実施していましたが、新型コロナの影響で集うことや飲食を伴う講座が自粛となり、実施できませんでした（令和元年度は9地区、14回、延べ166名）。

外部講師による講演会（令和2年度は計1回、18名）。

日付	講演会	講師	開催場所	参加人数
3月4日 (金)	健康づくり講演会 (コロナフレイルに関する講演会)	上野 みどり氏、 吉田 満由美氏 (なの花西日本) 太田 智美氏 (カミングハーモニー)	中央公民館	33

個別等での相談活動や食事指導（令和2年度は208件、251名）

指導・相談形態	件数（件）	対象人数（名）
家庭訪問指導	13	13
個別相談	19	19
集団指導（うち出前講座）	4（3）	54（47）
デイサービスにおける食事形態個別対応	125	125
計	161	211

#### (4) 地域ふれあい事業

##### ①ふれあいの場運営事業

町の補助・支援を得る中、地域の高齢者が孤立することなく、安心して暮らし、世代を超えた地域の交流の場づくりを進める上で、地域住民のつながりの再構築の一助となることを目的として、「ふれあいの場」運営補助事業を平成16年度より実施し、本年度は、若葉自治会より申請があり、運営助成を行いました。新型コロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言等により休止、例年のイベント縮小などを余儀なくされる中、感染予防対策を図り事業運営を実施しましたが、利用実績としては大きく減少となりました。

利用実績

	開所日数(日)	延べ利用数(名)	子供利用(名)	高齢者利用(名)	その他(名)
令和3年度	135	566	120	446	0
令和2年度	193	887	200	687	0

##### ②高齢者スポーツ助成事業・文化活動助成事業

町内の高齢者のふれあいと健康促進を目的として、町老人クラブ連合会主催の「グラウンドゴルフ大会」(令和3年10月13日開催、参加者約180名)の運営補助を行いました。文化活動「演芸発表会」については新型コロナ感染防止の取組として同連合会において開催中止の判断があり本年度の運営助成を行えませんでした。(本事業は、赤い羽根共同募金配分金により実施しています)

### 7 福祉学習(教育)啓発活動

#### 福祉教育活動事業

##### ①福祉教育協力校の指定(町内小学校6校・中学校3校の指定)

地域住民の福祉活動への理解と関心を深めるため、幼少期から高齢期に至るまで生涯を通じて幅広く福祉教育・学習の機会を提供し、体験・交流活動などを推進することを目的とし、助成金を交付しました。

各学校規模に応じ福祉講演会・校区内の高齢者との交流・高齢者疑似体験や車いす体験などの福祉体験を積極的に取り組まれました。

(共同募金の地域配分金を活用しています)

##### ②福祉教材の貸出

福祉教育の推奨を目的に、福祉学習に使用できる物品の貸出を行いました。福祉学習では、高齢者疑似体験や車いす体験・視覚障がい者疑似体験学習時に使用する物品・障がい者スポーツ サウンドボールなどの貸出を行いました。

##### ③学校・地域等での福祉講演会・体験学習の講師紹介等

「聴覚障がいの学習」については手話サークル「マジック」の協力を得て実施しました。新型コロナの影響の為、2学期に集中し福祉学習の依頼があり、認知症サポーター養成講座や

高齢者疑似体験・車いす体験学習の協力を行いました。3学期に福祉講演会や体験学習を予定していたが新型コロナの感染拡大によりやむを得ず中止された学校もありました。

福祉体験学習・講演会等の開催

学校名	開催月	内 容	講 師	対象者	人数
猪名川小学校	10月	福祉講演会 視覚障がい者・ピアノ演奏	前川 裕美氏	5・6年生	119名
	11月	車いす・アイマスク体験	社協職員 地域支援ボランティア (5名)	4年生	50名
	11月	高齢者疑似体験	社協職員 地域支援ボランティア (10名)	3・4年生	106名
	12月	聴覚障がいについてのお話と手話体験	手話サークル 「マジック」(4名)	2年生	57名
楊津小学校	12月	認知症キッズサポーター養成講座	キャラバンメイト (7名)	4年生	16名
	12月	聴覚障がいについてのお話と手話体験	手話サークル 「マジック」(2名)	4年生	16名
大島小学校	10月	車いす・アイマスク体験	社協職員 地域支援ボランティア (1名)	5年生	9名
	11月	福祉講演会 車いすバスケット・講話	大内 秀之氏	全校生徒	47名
	12月	福祉講演会 視覚障がい者・ブラインドサッカー体験	齊藤 晃司氏	全校生徒	47名
松尾台小学校	7月	認知症キッズサポーター養成講座	地域包括職員 キャラバンメイト (9名)	5年生	43名
	9月	車いす体験	社協職員 地域支援ボランティア (4名)	3年生	44名
	12月	聴覚障がいについてのお話と手話についての学習	手話サークル 「マジック」(4名)	2年生	37名
	12月	車いす体験	社協職員 地域支援ボランティア (6名)	6年生	40名

	12月	福祉講演会 車いすバスケット・講話	大内 秀之氏	6年生	40名
白金小学校	10月	聴覚障がいについてのお話と手話体験	手話サークル 「マジック」(4名)	4年生	83名
	11月	高齢者疑似体験	職員 地域支援ボランティア (10名)	4年生	83名
	11月	福祉講演会 ボッチャ体験・講話	原田 浩明氏 スポーツ推進委員 (3名)	4年生	83名
	12月	認知症サポーター 養成講座	地域包括職員 キャラバンメイト (9名)	4年生	83名
つつじが丘 小学校	10月	認知症サポーター 養成講座	地域包括職員 キャラバンメイト (8名)	4年生	84名
	10月	高齢者疑似体験	社協職員 地域支援ボランティア (12名)	4年生	84名
	11月	聴覚障がいについてのお話と手話体験	手話サークル 「マジック」(6名)	4年生	84名
	11月	車いす体験	社協職員 地域支援ボランティア (9名)	4年生	84名
	予定	福祉講演会 車いすバスケット・講話	大内 秀之氏	5年生	109名
猪名川高校	6月	認知症サポーター 養成講座	地域包括職員 キャラバンメイト (8名)	教育コ ミュニ ケー ション 類 型3年 生・分 教室2・3 年生	35名
	11月	聴覚障がいについてのお話と手話体験	手話サークル 「マジック」(4名)		29名
	11月	高齢者疑似体験	社協職員 地域支援ボランティア (6名)		26名
猪名川甲英 高校	6月	車いす・高齢者疑似体験	社協職員 地域支援ボランティア (4名)	3年生	22名
	10月	認知症サポーター 養成講座	地域包括職員 キャラバンメイト (4名)	3年生	22名
延べ利用人数			1,582名 (139名)		

※（ ）人数は、活動したボランティアの人数

#### ④ 出前講座の実施

地域や学校と“顔の見える関係づくり”を構築し、それぞれのニーズに応じた福祉学習を支援し、福祉に関する関心を高めることを目的に、出前講座を地域包括支援センターが中心に行っています。例年、地域の老人会、福祉委員会等で開催し、加えて地域の事業所専門職員等と地域住民の会合う場づくりを目的に、町内外事業所に出前講座講師登録の依頼を行いますが、本年度もコロナ禍の影響で地域活動が縮小したため、依頼は前年度に全体で4件、すべて地域包括支援センター職員が講師で出向きました。

#### 出前講座開催実績

	開催日	テーマ	参加者数	主催団体/開催場所	講師 地域事業所 /専門職員
1	9月7日(火)	高齢者福祉について	70名	民児協定例会 /社会福祉会館	地域包括支援センター
2	11月12日(金)	介護保険、町内高齢者施設の特徴、認知症の方への声掛け	6名	コープ /パークプラザ集会所	地域包括支援センター
3	12月7日(火)	介護保険について	12名	民児協六瀬地区委員会 /社会福祉会館	地域包括支援センター
4	12月12日(日)	認知症について	18名	旭ヶ丘コスモスクラブ /ゆうあいセンター	地域包括支援センター
合計			延べ106名/4団体/全4回 (令和2年度 延べ86名/2団体/全3回)		地域包括4回

#### ⑤ 福祉学習を考える集いの開催

学校や地域での福祉学習では、自ら学び考える「生きる力」を育むことを目的に様々な形で実践され、基本的な考え方や、学校や地域で身近にできる福祉学習の取り組み方を学び、猪名川町の福祉学習がより充実したものとなることを目的に実施しました。

日付	内容	講師	開催場所	参加人数
8月5日 (木)	①地域共生社会をの実現を目指した福祉教育・ボランティア学習」 ②「福祉学習プログラム紹介」	大阪教育大学 総合教育系 教育協働学科 教育学研究科 特任教授 新崎 国広氏	総合福祉(ゆうあい)センター	22名

#### ⑥ トライやるウィークへの協力

兵庫県教育委員会では、県下の公立中学校2年生全員が、地域社会で体験活動を行う週間

を設定し、学校・家庭・地域社会が一体となり体験活動を通して、中学生の心の教育を図る目的で、平成10年度より「地域に学ぶトライやる・ウィーク」が実施されていますが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

## 8 調査・情報活動

### 啓発・情報活動事業

社会福祉協議会の役割や活動を周知し、福祉活動への参加を促進するため、地域住民やボランティアと一体となった福祉啓発イベントの運営や社協だより、ホームページ掲載内容の充実にも努め、タイムリーな情報提供等、福祉情報について広報活動に取り組みました。

#### ①社協だよりの発行

機関紙である「社協だより」を5月、8月、10月、1月の年4回（1回12,000部）発行し、全世帯に配布しました。掲載内容の充実と、読みやすい紙面への工夫を行いました。

（共同募金の地域配分金を活用しています）

#### ① ホームページの充実

より良いホームページ作成を目指し、ホームページのリニューアルを行いました。福祉情報の発信や社協活動のPRにも努め、特に社協開催の講座の周知を図り、受講者の増加に努めました。

#### ③町広報との連携

講座等の案内は、町広報とも連携し、毎月数件の情報を「広報いながわ」へ掲載しています。また、「いなぼうネット」での案内も実施しました。

#### ④社協リーフレット・パンフレット作成

各事業等にて講座等のチラシを作成するとともに、社協会費のリーフレットを作成し、社協事業等の案内を行いました。作成したチラシ等は、ホームページでアップするとともに、「ふれあい伝言板」（役場、図書館、ふらっと六瀬、日生連絡所に設置）にて福祉情報の発信や社協活動のPRにも努めました。

#### ④ 健康福祉まつりでの啓発活動

「だれもが健康で、安心して暮らせる地域社会」をめざして、住民相互の理解と交流を深め、地域福祉の担い手である住民の方々に地域や社会に参加してもらうきっかけづくりになることを目的として、例年「健康福祉まつり」に参加してきましたが、令和2年度に続き、3年度も新型コロナウイルスの影響によりイベント自体が中止となったため啓発活動は行えませんでした。

（共同募金の地域配分金を活用しています）

## 9 組織基盤づくり活動

### (1) 組織・基盤づくり活動事業

社会福祉法等の関係法令を遵守し、地域から信頼され、事業運営の透明性を確保しながら、

より適正で効率的な法人運営に取り組みました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部会議等の開催は控え、書面等による審議・議決となりました。

①定款・諸規程等の整備・改廃

本年度における理事会及び評議員会の開催、諸規程等の制定及び一部改正議案については、本報告書「12諸会議」を参照。

②地域福祉推進計画の策定と評価

令和2年度～6年度までの5ヶ年に亘る第7次猪名川町地域福祉推進計画について2年目の各事業の評価、現状と課題（評価）及び次年度の目標について評価委員会にて書面審議しました。

③猪名川町社協職員災害時行動の手引きに基づく研修・訓練

職員の入退職ごとに災害時連絡網の更新を実施し、年2回、緊急連絡伝達訓練を実施しました。

④役員・職員研修の充実

介護職員初任者研修を開催し、無資格の職員への資格取得支援を行いました。併せてハラスメント防止研修など計4回実施。常勤職員に初めて研修参加を義務付けた形式で行いました。（令和2年度計4回実施）各事業所においても専門性の向上を目指し、オンライン研修や外部研修へ参加、フィードバックを行いました。

(2) 自主財源促進活動事業

社協会員の増強

地域福祉の充実と社協基盤の確立を図るための財源となり、各自治会を通じ啓発を行い会員の加入促進に努めました。本年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響が続いたため、町内事業所に対する賛助、団体会員の募集は自粛したことにより昨年度同様に会員数及び会費実績が減少しました。

会員会費の納入状況（決算書 P3 会費収入）

（単位：円）

会員の種類	会費額	令和3年度		令和2年度	
		金額	摘要	金額	摘要
一般会員	500	2,340,366	47自治会	2,351,889	47自治会
賛助会員	5,000	15,000	2事業所	15,000	2事業所
団体会員	5,000	0	0団体	0	0団体
計		2,355,366		2,366,889	

(3) 共同募金運動への協力事業

①赤い羽根共同募金活動

兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会として募金活動を実施しました。本年度は、住民の方に地域福祉活動を知っていただくため、きっかけづくりを重視した活動を町全体の取り組みとしました。町内自治会、学校、法人、民生委員・児童委員、猪名川町職員、福祉団体等の多くの方々の協力を得ることができました。しかし、募金活動では、新型コロナウイルス

ルス感染拡大防止の取組として街頭募金活動を自粛しました。

また、1月から3月を期間拡大募金と位置付け、募金箱の設置での募金啓発活動を実施しました。

募金実績（期間拡大募金実績含む）

	目標額（円）	実績額（円）	達成率
令和3年度	1,915,000	1,698,950	88.7%
令和2年度	2,745,000	1,677,349	61.1%

募金別実績額（期間拡大募金実績含む）

（単位：円）

募金方法	金額	募金方法	金額
戸別募金	1,157,593	学校募金	96,377
街頭募金	0	イベント募金	6,800
法人募金	105,000	その他（募金箱）	77,840
職域募金	255,340	-	-
合計		合計	1,698,950

②歳末たすけあい運動の実施

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができる一助として、「つながる ささえあう みんなの地域づくり」のスローガンのもと12月1日から12月31日の間、運動に協力しました。

募金活動においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組として街頭募金活動を自粛しました。本年度は、いながわ子供の家入居者へのお年玉として配分のほか、新たな配分として児童扶養手当受給者のうち令和4年度に小学校・中学校に入学する予定の児童を扶養する世帯へ入学準備金を配分しました。

募金実績

（単位：円）

NO	区分	金額	備考
1	戸別募金	728,423	
2	街頭募金	0	
3	募金箱	7,330	
4	預金利子	0	
5	前年度繰越金	343,416	
合計		1,079,169	



配分内訳

(単位：円・件)

NO	配分先	配分金額	配分基準額	件数	備考
1	生活困窮世帯	160,000	20,000	8	相談支援等より
2	いながわ子供の家	198,000	10,000	6	施設払出申請
			8,000	6	
			5,000	18	
3	児童扶養手当受給者 入学準備金	200,000	20,000	10	こども課より
4	繰出金	15,000	0	0	歳末募金事務費へ繰出
5	次年度繰越金	506,169	0	0	
合計		1,079,169		48	

(4) 善意銀行の運営事業

住民や団体等から福祉向上のため預託される金品・物品等貴重な浄財を、必要な人々や団体の福祉活動に役立てるよう運用を行いました。

① 運営委員会による適正な運営

運営委員会を開催し、善意銀行の適正な運用について協議・報告を行いました。本年度も、いながわ子供の家を退所する児童に対して進学・就労の支度準備金として、運営委員会において承認を得て払出を行いました。

② 金銭・物品の預託と払出 (決算書 P33 寄付金収入/P36 一般払出支出)

種類	預託内容	金額等	備考	払出内容	金額等	備考
金銭	一般	308,205 円	10 件	一般	548,080 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摂丹地区里親会</li> <li>・ひょうごこども家庭福祉財団</li> <li>・特定非営利活動法人フードバンク関西</li> <li>・緊急払出し 5 件</li> <li>・災害見舞金 1 件</li> <li>・日常生活自立支援事業利用料一部助成 18 件</li> <li>・地域居場所づくり応援助成 1 件</li> <li>・いながわ子供の家</li> </ul>
	指定	0 円	0 件	指定	0 円	
	合計	308,205 円		合計	548,080 円	
物品	福祉用具	1 件	・シャワーチェア	福祉用具	0 件	町内福祉施設などへ払出し

	その他	18件	・米(30 <sup>kg</sup> ×4) ・衣類、オムツ類 ・ふきとり布 ・日用品 ・マッサージチェア	福祉用品. その他	13件	
	合計	19件		合計	13件	

### ③地域の居場所づくり応援支援助成

地域で誰もが自由に集える居場所、サロンを運営する団体に対して善意銀行から運営助成を行うもので、申請のあった杉生いきいきサロンに対して助成金(1団体につき25,000円)の交付を実施しました。

## 10 団体支援活動

### 福祉団体の支援事業

福祉関係団体の自主的活動に向けて、事務局として各当事者団体の活性化と活動の充実に向け団体活動の継続的支援に取組ました。

- ①民生委員児童委員協議会      ②老人クラブ連合会      ③遺族会
- ④身体障害者福祉会              ⑤身体障害者父母の会      ⑥手をつなぐ育成会
- ⑦こころ猪名川家族会

## 11 町指定管理事業

### 猪名川町総合福祉センターの管理・運営事業

総合福祉センターでは、高齢者等の生きがい・健康活動の場として、広く利用の促進を図りました。また、町から総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、同センターの施設利用や維持管理の業務を行いました。本年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため4月22日から10月21日、1月27日から3月22日の間、センター利用の一部休止等の措置により昨年度利用実績を下回りました。

#### ①利用状況一覧表

(単位:件・人)

		一般浴室	室内プール	教養 娯楽室	研修室	ドーム	合計
令和 3年度	件数	11,588	4,828	550	237	1,131	18,334
	人数	11,588	4,828	2,959	2,392	8,129	29,896
令和 2年度	件数	19,106	4,748	481	238	1,128	25,701
	人数	19,106	4,748	2,817	2,668	8,750	38,089

- ※令和3年4月22日～10月21日 新型コロナウイルス感染防止でお風呂閉鎖  
 ※令和3年4月25日～6月1日 新型コロナウイルス感染防止で貸館・ドーム閉鎖  
 ※令和4年1月27日～3月22日 新型コロナウイルス感染防止で一般浴室休止

②施設修繕一覧表（決算書 P71 修繕費支出）

（単位：円）

実施時期	修繕工事内容	金額
5月	障害者福祉センター洗面自動水洗修理 福祉センター厨房内食洗器修理	73,700 50,600
6月	福祉センター厨房内熱風食器消毒保管機修理 福祉センター地下駐車場法面改修工事 福祉センター正面玄関タイル舗装補修	111,980 275,000 11,000
7月	福祉センター厨房内食洗器修理 コミュニティードームオーバードア修理	154,550 255,530
9月	福祉センター中央監視リモートユニット交換 障害者福祉センター空調機器更新工事 福祉センター非常放送設備盤更新工事 福祉センター屋内プールシャワーヘッド交換	1,430,000 1,573,000 1,881,000 25,080
10月	福祉センター屋内プール環水槽補修工事	506,000
12月	障害者福祉センター自動扉補助光線器更新工事	79,200
1月	障害者センター床暖房機器交換工事 福祉センター一般浴槽湯温調整弁更新工事 福祉センター厨房給湯器基盤交換	110,000 385,000 50,369
2月	福祉センター2階浴室排水障害工事	62,700
3月	福祉センター屋内プールトイレ扉補修工事 福祉センター1階障害者トイレ天井内部漏水復旧工事 障害者福祉センター排煙装置修繕（町予算按分）	12,507 231,000 269,500
計		7,547,716

## 1 2 諸会議

以下、法人運営に係る諸会議について報告します。

### ①理事会開催状況

(理事定数 9 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R3. 6. 8	理事会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 採 決 状 況	令和 2 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 令和 2 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事・監事候補者について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員の推薦候補者について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会嘱託職員の雇用に関する要綱の一部改正について 令和 3 年第 1 回評議員会の招集日時、場所、議題等について 第 1 号～第 7 号すべて議決
R3. 6. 23	理事会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 8 号 議案第 9 号 議案第 10 号 採 決 状 況	会長の選任について 副会長の選任について 常務理事の選任について 第 8 号～第 10 号すべて議決
R4. 2. 2	理事会 (3 回)	理事会開催の決議の省略(一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第 96 条)	議案第 11 号 議案第 12 号 議案第 13 号 採 決 状 況	令和 3 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第 1 号)について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事・監事候補者について 令和 3 年度第 2 回評議員会の招集日時、場所、議題等について 第 11～13 号すべて議決
R4. 3. 22	理事会 (4 回)	総合福祉センター	議案第 14 号 議案第 15 号 議案第 16 号 議案第 17 号 議案第 18 号 議案第 19 号	令和 4 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について 令和 4 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会パワーハラスメントの防止に関する規程の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会嘱託職員の雇用に関する要綱の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会臨時職員の雇用に関する要綱の一

年月日	会議名	場 所	内 容	
			議案第20号	部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会虐待防止委員会設置要綱の制定について
			議案第21号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会多機能型事業所「希望の家すばる」運営規程（生活介護、就労継続支援B型）の一部改正について
			議案第22号	ゆうあいヘルパーステーション指定居宅介護事業・指定重度訪問介護事業運営規程の一部改正について
			議案第23号	ゆうあいデイサービスセンター指定通所介護事業運営規程等の一部改正について
			議案第24号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約について
			議案第25号	令和3年度第3回評議員会の招集日時、場所、議題について
			採決状況	第14号～第25号すべて議決
R4.3.29 AM	理事会 (5回)	総合福祉センター	議案第26号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事の候補者について
			議案第27号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事務局長の選任について
			採決状況	第26号～第27号すべて議決
R4.3.29 PM	理事会 (6回)	総合福祉センター	議案第28号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会常務理事の選任について
			採決状況	第28号議決

②監事会開催状況

(監事定数2名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R3.6.1	監査	総合福祉センター	令和2年度事業報告・収入支出決算監査 監事2名出席	

③評議員会開催状況

(評議員定数 17 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R3. 6. 23	評議員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 採 決 状 況	令和 2 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 令和 2 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事・監事の選任について 第 1 号～第 3 号すべて議決
R4. 2. 9	評議員会 (2 回)	理事会開催の決議の省略(一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第 96 条)	議案第 4 号 議案第 5 号 採 決 状 況	令和 3 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第 1 号)について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事・監事の選任について 第 4 号～第 5 号すべて議決
R4. 3. 29	評議員会 (3 回)	総合福祉センター	議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号 採 決 状 況	令和 4 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について 令和 4 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事の選任について 第 6 号～第 8 号すべて議決

④評議員選任・解任委員会

(委員定数 5 名)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R3. 6. 17	委員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 採 決 状 況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員推薦候補者の選任について 第 1 号議決

### Ⅲ 役員の状況

社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況（令和4年3月31日現在）

#### ① 理事（定員7名以上9名以内）

（任期 令和3年6月23日～令和4年度に関する定時評議員会の終結時まで）

※順不同

会長	村山	興治
副会長	北上	倫聖
理事	亀川	公昭
〃	坂田	哲啓
〃	安藤	邦美
〃	堀口	初恵
〃	紺家	儀二
〃	大西	崇
常務理事	飯田	勝美

#### ② 監事（定員2名以内）

（任期 令和3年6月23日～令和4年度に関する定時評議員会の終結時まで）

監事	家門	正幸
監事	鮫島	秀一

#### ③ 評議員（定員14名以上17名以内）

（任期 令和3年6月23日から選任後4年以内の終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結時まで）

※順不同

評議員	北山	義和	評議員	福本	道子
〃	安武	雅子	〃	太田	はるよ
〃	北中	昭夫	〃	谷口	稔
〃	関根	純子	〃	鈴木	裕治
〃	吉尾	一夫	〃	和泉	輝夫
〃	高岡	美津子	〃	伊藤	茂子
〃	安達	隆	〃	板橋	汎子
〃	今泉	友幸	〃	関口	捷子
〃	石井	誠			